

取材のお願い

国際交流基金

JAPAN FOUNDATION



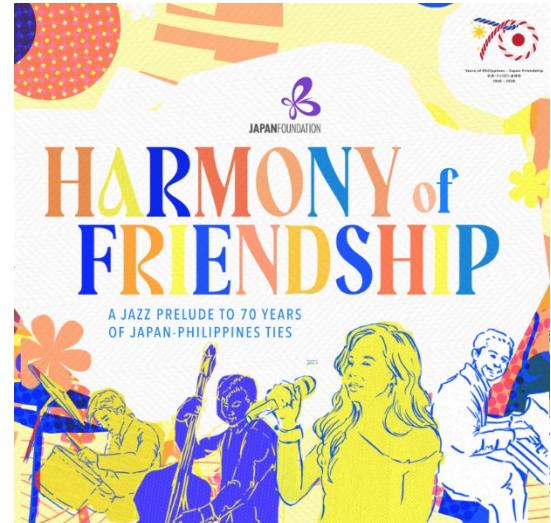
2026年日・フィリピン友好年（国交正常化70周年）オープニングイベント

～Tokyo-Manila Jazz & Arts Festival Group がつなぐ文化交流～

国際交流基金（JF）は、**2026年日・フィリピン友好年（国交正常化70周年）**のオープニングイベントとして、マニラとセブにてCharito 氏をメインボーカルとする Tokyo-Manila Jazz & Arts Festival Group 公演およびワークショップを実施します。

2026年日・フィリピン友好年のテーマ「未来を共に織りなす：平和、繁栄、可能性」のもと、ジャズの響きが日本とフィリピンの文化を結ぶ架け橋となり、両国の絆がさらに深まる 것을 목표로 합니다.

Charito 氏は、数々の受賞を誇る日本ジャズ界を代表するヴォーカリストの一人で、自身の音楽活動に加えて、日本とフィリピンのジャズアーティストが集う Tokyo-Manila Jazz & Arts Festival の立ち上げや、両国の子どもたちを支援する慈善活動を展開するなど、日本とフィリピンを音楽で繋いでいました。



Years of Philippines - Japan Friendship
日本・フィリピン友好年
1956 - 2026

マニラおよびセブでの3公演では、来場された方々にジャズを通じた両国の文化的つながりをより身近に感じていただけることを願っています。

さらに、メトロマニラ南部に位置するデラサール大学ダスマリニャス校でのワークショップでは、ジャズを学ぶ学生たちとの交流のなかで、音楽の魅力や創造の楽しさを伝えるとともに、次世代の人材育成に寄与します。

本事業は、日本と ASEAN の次世代の交流促進と人材育成を目的とする包括的な人的交流事業「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」の一環として実施します。

「Harmony of Friendship: A Jazz Prelude to 70 Years of Japan-Philippines Ties」 公演概要

日程：2026年1月20日（火）19時00分～

会場：Proscenium Theatre（マニラ）

入場方法：招待のみ

主催：国際交流基金

日程：2026年1月22日（木）19時00分～

会場：Romulo Theater（マニラ）

入場方法：無料（すでに予定件数に達したため予約受付終了。取材ご希望の際には下記にご連絡ください）

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

PRESS RELEASE

取材のお願い

国際交流基金
JAPAN FOUNDATION JF

主催：国際交流基金

日程：2026年1月23日（金）19時00分～

会場：Cebu Capitol Social Hall（セブ）

入場方法：招待のみ

主催：国際交流基金

共催：在セブ日本国総領事館

■デラサール大学ダスマリニャス校でのワークショップ

日程：2026年1月21日（水）

内容：Tokyo-Manila Jazz & Arts Festival Group メンバーによるジャズワークショップ

主催：国際交流基金

共催：デラサール大学ダスマリニャス校

場所：デラサール大学ダスマリニャス校（メトロマニラ南部）

公演ならびにワークショップへの現地取材、参加アーティストへのインタビューが可能です。

詳しくは、国際交流基金 ブランド推進部 広報課 press@jpf.go.jpまでご連絡ください。

アーティストプロフィール

Tokyo-Manila Jazz & Arts Festival Group

Charito [Vocals]

日本のジャズ界を代表する卓越したヴォーカリストの一人。彼女の歌声、表現力、音楽的芸術性により、世界的にも高く評価されている。2004年のアルバム『Non Stop to Brazil』ではブラジル音楽の巨匠イヴァン・リンスと、2006年の『Nica's Dream』ではマンハッタン・ジャズ・オーケストラと共に演じ、いずれも日本のジャズ専門誌「Swing Journal」主催のジャズ・ディスク・アワードにおいてヴォーカル部門のグランプリを受賞。

音楽活動に加え、「Because We Care」の創設者として、日本とフィリピンの子どもたちを支援する慈善活動を展開している。さらに2012年には、日比のジャズアーティストが集う最大規模の音楽祭 Tokyo-Manila Jazz & Arts Festival を設立。現在第5回を迎え、両国の若手音楽家の教育や国際文化交流に貢献し続けている。



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

PRESS RELEASE

取材のお願い

国際交流基金
JAPAN FOUNDATION JF

蟻正 行義 [Piano]

3歳よりピアノを習い始め12歳でジャズピアニスト、オスカー・ピーターソンの演奏を聴き、Jazzに魅了され以降独学で勉強し、アメリカバークリー音楽大学に入学。作編曲を学び、在学中はピアニスト／アレンジャーとしてハムクジョーンズ賞、デュークエリントン賞を受賞。卒業以降は、数々のアーティスト、ジャズグループと共に、ピアニスト／アレンジャー／コンポーザー／音楽プロデューサーとして数々アルバム制作に参加。2000年より洗足学園音楽大学ジャズコース教授として、ジャズソルフェージュを開設。また横浜芸術文化財団主催の小学生向けジャズ講座も開催。2016年には各国の音楽家同士のコミュニケーションや教育目的のワークショップなど芸術振興に携わる法人として活動を開始すべく一般社団法人「Artist Green」を設立。以来、教育系ジャズフェスティバル「和 Meets Jazz」の音楽プロデュース、マニラ、台北でのワークショップ／コンサート、モントレー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさきやシンガポールのジャズコンペティションの審査員など、後進の育成にも注力している。



楠井 五月 [Bass]

法政大学ジャズスタディクラブに入部してコントラバスを始め、井上陽介に師事。在学中よりプロとして演奏活動を開始。2011年より、エルヴィン・ジョーンズとの長年の共演で知られる辛島文雄(Piano)のトリオに加入し、毎年二ヶ月に渡る全国ツアーに参加。小松伸之(Drums)と共に晩年のリズムセクションを務め、アルバム計三枚のレコーディングに参加。各氏のバンドや多数のセッション、レコーディングなどで活動中。海外ミュージシャンの来日公演のサポートを数多く務める。また、東京都内を中心に自身のリーダーバンドの活動も精力的に行っている。2017年初リーダー作となる「Satsuki Kusui & Vladimir Shafranov」を発表。共同リーダーを務めるバンド「SK4」では現時点で2枚のアルバムをリリース、海外公演を成功させるなど、活躍の場がますます広がりつつある。ジャズの伝統に根ざした強靭なスティングビートと様々なジャンルに対応する幅広い音楽性とでバンドサウンドを固める。



Photo by Mariko Watanabe

北沢 大樹 [Drums]

ジャズドラマー。University of North Texas ジャズ学科を成績優秀者として卒業。University of Northern Colorado ではジャズ学科修士課程を首席で修了。18歳で渡米し、主にカリフォルニア、テキサス、コロラドの音楽シーンで活躍。師事したアーティストは、Dean Koba、Jeff Hamilton や Ed Soph、Jim White など。在学中から10年以上全米で活動し、参加した仕事はテレビ局の番組や州のイベント、シンポジウムなど多岐にわたる。共演したアーティストは、Vince Mendoza、Greg Gisbert、Alex Sipiagin 等。帰国後は Charito、木住野佳子、五十嵐一生などのサポートを行う傍ら、国内の活動だけではなく2023年には台湾で5回ツアーを行うなど、アジアで顕著な存在として活動している。



この件に関するお問い合わせ :

国際交流基金 広報部（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

PRESS RELEASE

取材のお願い



「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」について

国際交流基金（JF）は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」「日本語教育」「日本研究・国際対話」を推進する独立行政法人です。

JFでは2024年から10年間にわたって ASEANを中心とするアジア諸国と、日本語教育、文化芸術、日本研究、国際対話の分野で、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」を開催しています。

日本語パートナーズ事業と双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。



◆日本語パートナーズ事業

アジアの中学校・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。

◆双方向の知的・文化交流事業

相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。

次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－公式サイト <https://asiawa.jpf.go.jp/>では、これまでの取り組みを記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

この件に関するお問い合わせ :

国際交流基金 広報部（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp